

1978年に文京総合体育館プールで新体連婦人水泳教室に参加した働く女性のクラブとして発足しました。現在、毎週土曜日午前の2時間、文京総合体育館プールを全面借り切って、1~6班が6コースに分かれて、専任コーチの指導で練習しています。

海の合宿では泳力に応じて平泳ぎ500m、クロール1km、2kmの遠泳に挑戦。また、東京水泳フェスティバルなどスポーツ連盟の大会に取り組んでいます。

80名近いクラブ員の動向、健康状態の把握を大切にするため、運営委員18名がフル活動。定期的に運営委員会、100%の会費納入、プール確保、出席簿、広報(潮ニュース発行)、スポーツ保険加入等々を行っています。

コーチ、サブコーチ、正副会長による定期的コーチ会議では、日頃の練習内容、大会への勧誘、合宿の遠泳内容を検討します。また年1回健康アンケートを実施し健康チェックカードを作成。そして緊急連絡先とメディカルチエ

潮スイミングクラブ

(東京水泳協議会)



奄美大島夏合宿 2015年6月

ックシートをコーチ会議メンバーが保持するようにしています。

クラブ存続のためにも意欲ある会員には指導員資格試験に挑戦を勧めています。ここ2年で4人の資格取得者が誕生しました。

問題は会員の高齢化。ケガをきっかけに認知症になる会員も。高齢者には下半身強化を練習の中に取り入れていけないかと考えています。
(菊池由紀子さんより)